正誤表

〇 中学校　国語　23ページ　五　問題文　＊

（誤）

＊太公…周の文公に仕えた太公望呂尚。



（正）

＊太公…周の文王に仕えた太公望呂尚。

kyosai-guild.jp

8〔中学校　国語〕

受験区分	受験番号	氏　　名

〔注意事項〕

1　試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

2　この試験は、コンピュータを利用して採点するため、解答用紙にていねいに鉛筆で記入してください。

3　解答用紙には解答記入欄以外に次の記入があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしてください。

⑴　受験区分・受験番号欄

受験区分・受験番号（数字）を受験票のとおりに記入し、さらにその下のマーク欄にマークしてください。正しくマークされていない場合には、採点できないことがあります。

⑵　氏名欄、校種等・教科（科目）欄

氏名・フリガナ及び校種等・教科（科目）を記入してください。なお、校種等・教科（科目）については、受験票のとおりに記入してください。

4　試験時間は60分です。

5　解答は、解答用紙の解答記入欄にマークしてください。例えば、［1］と表示のある解答番号に対して③と解答する場合は、次の（例）のように解答番号［1］の解答記入欄の(3)にマークしてください。

（例）

解答番号	解答記入欄 1 － 20
[1]	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

6　解答用紙の解答記入欄は、全部で、［100］まで記入できるようになっていますが、〔中学校　国語〕試験の解答番号は1～50ですので、解答記入欄の［51］～［100］は絶対に記入しないでください。

7　どの問題も、解答番号一つにつき解答記入欄にマークできる答えは必ず一つです。二つ以上の番号にマークしたものは採点されません。

8　解答番号のマークを間違えたときは、消しゴムで完全に消してからマークしてください。

9　計算を要する問題は、問題用紙の余白を利用してください。解答用紙で計算しないでください。

10　問題の内容についての質問はできません。

kyosai-guild.jp

〔一〕 次の問いに答えなさい。

問一 次の記述は、平成二十九年三月に告示された「中学校学習指導要領」の「第2章　各教科」「第1節　国語」「第2　各学年の目標及び内容」〔第3学年〕の「2　内　容」〔思考力，判断力，表現力等〕の「C　読むこと」の一部である。空欄Ⅰ～Ⅲに当てはまるものの組合せとして最も適切なものを、後の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 1 。

(1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア　文章の種類を踏まえて，論理や物語の Ⅰ などを捉えること。
イ　文章を批判的に読みながら，文章に表れているものの見方や考え方について考えること。
ウ　文章の構成や論理の展開，表現の仕方について Ⅱ こと。
エ　文章を読んで考えを広げたり深めたりして，人間，社会，自然などについて，Ⅲ こと。

① Ⅰ 表現の効果　Ⅱ 評価する　Ⅲ 自分の意見をもつ
② Ⅰ 展開の仕方　Ⅱ 批判的に読む　Ⅲ 自分の知識や経験と結び付ける
③ Ⅰ 展開の仕方　Ⅱ 評価する　Ⅲ 自分の意見をもつ
④ Ⅰ 表現の効果　Ⅱ 批判的に読む　Ⅲ 自分の意見をもつ
⑤ Ⅰ 展開の仕方　Ⅱ 評価する　Ⅲ 自分の知識や経験と結び付ける

問二 平成二十九年三月に告示された「中学校学習指導要領」の「第2章　各教科」「第1節　国語」「第2　各学年の目標及び内容」〔第1学年〕の「2　内　容」〔知識及び技能〕における我が国の言語文化に関する事項の記述として**適切ではないもの**を、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 2 。

① 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解すること。
② 古典には様々な種類の作品があることを知ること。
③ 読書が，知識や情報を得たり，自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解すること。
④ 共通語と方言の果たす役割について理解すること。
⑤ 音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り，古文や漢文を音読し，古典特有のリズムを通して，古典の世界に親しむこと。

kyoshinsaiumu.jp

問三　漢字の読み方として**適切ではないもの**を、次の①～⑤のうちからそれぞれ選びなさい。解答番号は 3 ～ 7 。

3
① 纏る（まつ）　② 憤る（むずか）　③ 嘲る（あざけ）
④ 掌る（てこず）　⑤ 耽る（ふけ）

4
① 論う（あげつら）　② 拭う（はら）　③ 啄む（ついば）
④ 準える（なぞら）　⑤ 懇ろ（ねんご）

5
① 霰（みぞれ）　② 項（うなじ）　③ 薇（ぜんまい）
④ 楔（くさび）　⑤ 現（うつつ）

6
① 定款（ていかん）　② 背馳（はいち）　③ 刷毛（はけ）
④ 袂別（べいべつ）　⑤ 瑕疵（かひ）

7
① 棚機（たなばた）　② 野分（のわき）　③ 胡桃（こちょう）
④ 啓蟄（けいちつ）　⑤ 俄雨（にわかあめ）

問四　次の二重傍線部と同じ漢字を書くものとして適切なものを、後の①～⑤の傍線部のカタカナのうちからそれぞれ選びなさい。解答番号は 8 ～ 10 。

8
解体費用をネンシュツする。
① テンネンに存在する物質。
② カネン廃棄物を処理する。
③ 抽象的なカンネンを言葉で表現する。
④ このテープはネンチャク力が強い。
⑤ 足首をネンザしてしまった。

9
簡単メイリョウでわかりやすい。
① 地図を見れば一目リョウゼンだと思う。
② 売り上げが前年度をはるかにリョウガした。
③ ホンリョウを発揮してほしい。
④ 法令違反としてカリョウを科される。
⑤ リョウシンがとがめる。

10
今回の行動はジョウキを逸している。
① プロジェクトがキドウに乗った。
② キチョウ講演を開くことが決まった。
③ 新しいイベントのキカク。
④ 風紀をキセイする。
⑤ 対応の遅れによるキカイ損失。

kyoei-guild.jp

問五　物の数え方の組合せとして**適切ではないもの**を、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 11 。

① 鳥居　―　一基
② 劇団　―　一座
③ タンカー　―　一隻
④ 鯨　―　一頭
⑤ 川柳　―　一首

問六　四字熟語とその説明の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 12 。

① 「奇奇怪怪」　―　利があるとともに害があること。
② 「一飲一啄」　―　ありのままを受け入れて自由に生きること。
③ 「多士済済」　―　さまざまに変化すること。
④ 「意気軒昂」　―　自分の判断だけで事を行うこと。
⑤ 「不倶戴天」　―　こだわりなく物に応じ事に従って行動すること。

問七　対義語の組合せとして**適切ではないもの**を、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 13 。

① 末端　―　中枢
② 憂色　―　喜色
③ 退嬰　―　進捗
④ 侵害　―　擁護
⑤ 暗愚　―　賢明

問八　意味が反対になる表現の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 14 。

① 「器用貧乏」　―　「衣ばかりで和尚はできぬ」
② 「危ない橋を渡る」　―　「桂馬の高上がり」
③ 「看板に偽りなし」　―　「腐っても鯛」
④ 「水を差す」　―　「拍車を掛ける」
⑤ 「粋が身を食う」　―　「打って一丸となる」

Kyosai-guild.jp

問九　故事成語とその意味の組合せとして**適切ではないもの**を、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 15 。

① 「人口に膾炙す」 ― 人は死んでも後世に名声を残すべきである。
② 「顰みに倣う」 ― ことの善し悪しを考えずに、他のまねをする。
③ 「出藍の誉れ」 ― 弟子がその師匠よりも優れていること。
④ 「守株」 ― いつまでも古い習慣にこだわって、少しの進歩もないこと。
⑤ 「画竜点睛」 ― 物事を完成させる最後の仕上げ。

問十　傍線部の副詞を用いた文例として**適切ではないもの**を、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 16 。

① 彼女のコレクションはどれも素晴らしいのですが、なかんずくこの彫刻は一級品です。
② 主任のさきほどの発言は、けだし正論だろう。
③ 実家の洗濯機がついぞ故障してしまい、新しく購入することになった。
④ 父は感情のままに、ことさら大声で話した。
⑤ 祖父はその言葉を遮るようにやおら立ち上がった。

問十一　日本の作家と作品の組合せとして**適切ではないもの**を、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 17 。

① 武者小路実篤 ― 『お目出たき人』
② 夏目漱石 ― 『虞美人草』
③ 有島武郎 ― 『或る女』
④ 田山花袋 ― 『破戒』
⑤ 志賀直哉 ― 『暗夜行路』

問十二　海外の作家と作品の組合せとして**適切ではないもの**を、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 18 。

① キャロル ― 『不思議の国のアリス』
② ディケンズ ― 『ゴリオ爺さん』
③ スタインベック ― 『エデンの東』
④ メーテルリンク ― 『青い鳥』
⑤ フロベール ― 『ボヴァリー夫人』

kyogaguild.jp

問十三　人物と著作物の組合せとして**適切ではないもの**を、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 19 。

① 賀茂真淵 ― 『万葉考』
② 契沖 ― 『万葉代匠記』
③ 本居宣長 ― 『玉勝間』
④ 香川景樹 ― 『古事記伝』
⑤ 杉田玄白 ― 『蘭学事始』

問十四　作品の成立の早い順に並べた場合の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 20 。

① 『竹取物語』 → 『伊勢物語』 → 『源氏物語』 → 『狭衣物語』
② 『竹取物語』 → 『落窪物語』 → 『源氏物語』 → 『伊勢物語』
③ 『伊勢物語』 → 『うつほ物語』 → 『竹取物語』 → 『源氏物語』
④ 『源氏物語』 → 『伊勢物語』 → 『夜の寝覚』 → 『今昔物語集』
⑤ 『大和物語』 → 『今昔物語集』 → 『源氏物語』 → 『落窪物語』

問十五　唐宋八大家の人物名として**適切ではないもの**を、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 21 。

① 李白
② 柳宗元
③ 欧陽脩
④ 蘇軾
⑤ 王安石

問十六　与謝野晶子の作品として適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 22 。

① 不来方のお城の草に寝ころびて空に吸はれし十五の心
② のど赤き玄鳥ふたつ屋梁にゐて足乳根の母は死にたまふなり
③ その子二十櫛にながるる黒髪のおごりの春のうつくしきかな
④ 白鳥はかなしからずや空の青海のあをにも染まずただよふ
⑤ マッチ擦るつかのま海に霧ふかし身捨つるほどの祖国はありや

kyosai-guild.jp

問十七　作品とその書き出しの組合せとして**適切ではないもの**を、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 23 。

① 『伊勢物語』 ― 昔、男、初冠して、平城の京、春日の里に、しるよしして、狩りに往にけり。その里に、いとなまめいたる女はらから住みけり。この男、かいま見てけり。

② 『更級日記』 ― あづま路の道のはてよりも、なほ奥つ方に生ひ出でたる人、いかばかりかはあやしかりけむを、いかに思ひはじめけることにか、世の中に物語といふもののあんなるを、いかで見ばやと思ひつつ、

③ 『山椒魚』 ― 山路を登りながら、こう考えた。智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。とかくに人の世は住みにくい。

④ 『檸檬』 ― えたいの知れない不吉な塊が私の心を始終抑えつけていた。焦燥といおうか、嫌悪といおうか――酒を飲んだあとに宿酔があるように、酒を毎日飲んでいると宿酔に相当した時期がやってくる。

⑤ 『葉桜と魔笛』 ― 桜が散って、このように葉桜のころになれば、私は、きっと思い出します。――と、その老夫人は物語る。今から三十五年前、父はそのころまだ存命中でございまして、私の一家、と言いましても、

kyosai-guild.jp

著作権の関係で、掲載できません

kyosai-guild.jp

著作権の関係で、掲載できません

kyosai-guild.jp

著作権の関係で、掲載できません

kyosai-guild.jp

著作権の関係で、掲載できません

kyosai-guild.jp

著作権の関係で、掲載できません

kyosai-guild.jp

著作権の関係で、掲載できません

kyosai-guild.jp

著作権の関係で、掲載できません

kyosai-guild.jp

著作権の関係で、掲載できません

kyosai-guild.jp

著作権の関係で、掲載できません

kyosai-guild.jp

著作権の関係で、掲載できません

kyosai-guild.jp

著作権の関係で、掲載できません

kyosai-guild.jp

著作権の関係で、掲載できません

kyosai-guild.jp

〔四〕　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

白河院は花盛り、雪の朝、かならず御覧じて、もてなさアせおはしましけり。ある時、雪の夜中ばかりより、かきたれて降りければ、上達部、殿上人、Ⅰわれさきに参りて、見参に入らむといそぎ参りあはれけり。御随身敦季（あつすえ）参りて見れば、御車さし寄せて、人々深沓はきて下りあへり。敦季思ふやう、「雪は北に深く積もれば、うたがひなく北ざまへぞ御幸はならむずらむ」と思ひて、小野皇太后宮へ時々a参りければ、従者を走らイせて、「御幸のすでになり候ふ。さだめて北ざまへぞ候はむずらむ」と申したりければ、宮の女房の中に、紅の薄様着たるが三人候ひけるを、「その衣、背中より解き分けて、＊三間に＊出だせ」と宮のⅡ仰せごとありけるを、女房申すやう、「院入らせおはしまして、御覧あらむに、見苦しくb候ひなむ」と申しければ、「雪御覧ぜむに、内へ入らせ給ふこと、さらにあるウまじ」と仰せごとありければ、解きて三間に二具づつ出だしたりけり。

ほどなく御幸ならせ給ふ。「雪は北ざまがめでたきなり。小野のかたへ」と仰せありければ、殿上人、上達部、うちむれて仕うまつる。「皇太后宮の御方へ」と仰せあれば、人々、仕うまつりて、門外に下りたちたりければ、御車をばかきはづし、門より引き入れて、中門に御榻（しぢ）たてて、庭ざまを御覧ずるに、寝殿の南面に、紅の打出でを三間に出されたり。「Ⅲなにに、かくはまうけられたりけるぞ」と御覧ずるほどに、童の十七八ばかりなるが、縁青に色どりたる＊折敷に、金の御盃すゑて、紺瑠璃の御皿に、銀にてしたるは、餅（もちひ）を盛りたり。葉をば青く色どりて、いまかたつかたは、同じ御皿にざくろを盛られたる。右の手に持ちて、左の手に扇さして、雪の上に汗衫（かざみ）長く引き散らして、階より下りたる。下に同じやうなる童、御銚子に御酒入れて、また扇さして続きて、庭の雪にならびて参りて、御車の前より参らすれば、御盃をとりて、御酒を入れさせて、すこしcきこしめして、御盃をば折敷に置かせおはしましぬれば、二人ながら階の上にのぼりぬ。

とばかりあるほどに、＊裳、唐衣着たる女房の扇さしたる、また階より下りて参る。「いかに」と思へば、松の枝になににか、錦につつみたるもの、つけたるを持ちて、庭の雪の上に、袴踏み散らして、御車へ参る。時しも淡雪かきたれ降りて、物語などのやうなり。かの小野の尼、「かきくらす野山の雪を」とよめるを思ひ出づる人もありけり。女房、御車へ参りて、もとのやうに帰りのぼりぬれば、院の御車、引き出で参らせて、帰らせおはしましぬ。「雪は、内にて御覧ずるやうはなきぞ」と、宮仰せられけるにたがはざりけり。

この宮は後冷泉院の后、大二条関白の御女なり。入内の夜、院、隠れさせ給ふによりて、やがて尼になりて、小野に籠り居させ給ひてのち、かすかなる御ありさまなりけれども、御もてなし優に、用意深くましましけり。

（『十訓抄』から。一部表記を改めたところがある。）

＊**三間**……柱と柱の間。
＊**出だせ**……衣の裾や袖口を御簾の下から出すこと。装飾の一つ。
＊**折敷**……縁を折り曲げた四角の盆。食器、食物を載せる。
＊**裳、唐衣**……女房の正装。

問一　傍線部ア「せ」、傍線部イ「せ」、傍線部ウ「まじ」の、ここで用いられている意味の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 38 。

① ア 使役　イ 尊敬　ウ 打消当然
② ア 尊敬　イ 尊敬　ウ 打消当然
③ ア 尊敬　イ 使役　ウ 打消当然
④ ア 尊敬　イ 使役　ウ 禁止
⑤ ア 使役　イ 尊敬　ウ 禁止

問二　傍線部a「参り」、傍線部b「候ひ」、傍線部c「きこしめし」の、それぞれの敬意の対象の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 39 。

① ア 従者　イ 院　ウ 宮
② ア 敦季　イ 宮　ウ 院
③ ア 宮　イ 敦季　ウ 宮
④ ア 宮　イ 院　ウ 院
⑤ ア 宮　イ 宮　ウ 院

問三　傍線部I「われさきに参りて」とあるが、その理由として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 40 。

① 白河院が真夜中に降り積もった雪を見るために、密かに小野へ御幸に出立したことが殿上人たちに伝わったから。
② 白河院は雪が降ると、朝に御幸を行うことが常であったため、院に見参するには急がねばならなかったから。
③ 真夜中に降った雪で足下が悪いことが予想され、白河院の御幸に付き従うには早く参内する必要があったから。
④ 既に白河院は御幸に出立しており、ただでさえ足下の悪い中、院の御幸に参加するために急ぐ必要があったから。
⑤ 雪の降りしきる中でもいつも通りの時間に見参に上がることが、殿上人の忠誠を院に示すことに繋がるから。

Nagaraguild.jp

問四 傍線部Ⅱ「仰せごと」とあるが、その内容の説明として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 41 。

① 宮は出家し、慎ましやかに暮らしていたが、院の御幸の知らせを受け、院を迎える準備をしようとした。
② 宮はお気に入りの女房たちに華美な装いをさせることで、未だ衰えない強い経済力を院に示そうとした。
③ 宮は出家し、慎ましやかに暮らしていたため、院を迎える準備ができる経済力などないと敦季に示そうとした。
④ いつ、本当にお出でになるか分からない院の御幸に対し、ひとまず眼前にあった美しい衣を飾ろうとした。
⑤ 宮に仕えながらも、三人の女房は季節に合わない無風流な着物を着ていたため、その無頓着さをたしなめた。

問五 傍線部Ⅲ「なにに、かくはまうけられたりけるぞ」とあるが、その現代語訳として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 42 。

① どうしてこのような装飾の用意ができたのだろうか。
② どうしてこのような宴席の用意ができたのでしょうか。
③ どうやって私がここに来ることを知ったのでしょうか。
④ 何のためにこの庭は装飾されているのでしょうか。
⑤ 何のためにこの宴席は設けられているのだろうか。

問六 宮の屋敷でなされた催しの説明として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 43 。

① 階の上で女童が、右手に金の杯と銀の皿に載った餅、ざくろを載せた折敷を持ち、左手に扇を持ってたたずんでいた。
② 階の下で女童が、右手に銚子と杯を青く縁取られた折敷に載せて持ち、左手に扇を持ち、院の御車の前へ歩んでいった。
③ 階の下にいた女童が院の御車の前へ参上し、銚子を差し出したのに対して、院は自身の杯を差し出すことで応じた。
④ 階の上にいた女童が院の許へ献上したものは食事であり、階の下にいた女童が院の許へ献上したものは御酒である。
⑤ 正装をした女房は、何かを美しい布で包んだものを付けた松の枝を持ち、雪が降りしきる中、院の許へ参上した。

kyosaigaid.jp

問七　本作品が伝えることとして**適切ではないもの**を、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 44 。

① 白河院の風流さ
② 敦季と宮の機転
③ 宮の優美さ
④ 女房たちの思慮深さ
⑤ 院政期の雅やかさ

kyosai-guild.jp

〔五〕　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

張良が秦の始皇帝の暗殺に失敗し、下邳という町に潜伏中の一場面である。

良嘗閒*従容歩、游二下邳*圮上一。有二一老父一。衣レ褐、至二良所一、直墮二其履圮下一、顧謂レ良曰、孺子下取レ履。良愕然欲レ毆レ之。A為二其老彊忍一、下取レ履。父曰、履レ我。良業為取レ履、因長跪履レ之。父以足受、笑而去。良殊大驚、隨*目レ之。父去里所、復還曰、孺子、可レ教矣。後五日平明、與レ我會レ此。良因怪レ之、跪曰、諾。

五日Ⅰ、良往。父已先在。怒曰、與二老人一期、後何也。去。曰、後五日早會。五日Ⅱ良往。父又先在。復怒曰、後何也。去。曰、後五日復早來。五日良Ⅲ往。有レ頃父亦來。喜曰、B当レ如レ是。出二一編書一曰、D讀此則為王者師矣。*後十年興。十三年孺子見レ我。濟北*穀城山下黄石即我矣。遂去、無二他言一、不二復見一。旦日視二其書一、乃*太公兵法也。良因異レ之、常習誦レ讀二之一。

（『史記』から。一部表記を改めたところがある。）

＊**従容**……ゆったりと。
＊**圮**……橋。
＊**目**……見送る。
＊**後十年興**……十年後に張良が劉邦に出会い、漢軍が興隆することをいう。
＊**穀城山**……現在の山東省東阿県の東にある山の名。
＊**太公**……周の文公に仕えた太公望呂尚。

Kosaidaiin

問一 傍線部A「一老父」が自ら名乗った正体として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 45 。

① 孺子
② 履
③ 王者
④ 黄石
⑤ 太公

問二 傍線部B「爲其老彊忍、下取履」を解釈したものとして最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 46 。

① 張良はその老人が我慢強いことを理解して、履を取り換えてやった。
② 張良は相手が老人であるためあえて我慢をし、橋の下に降りて履を拾った。
③ 張良はその老人が我慢していることを理解して、橋の下に降りて履を拾った。
④ 張良は相手が老人であるため密かに思いやって、履を取り換えてやった。
⑤ 張良はその老人が苦労人であることに気づいて、橋の下に降りて履を拾った。

問三 空欄Ⅰ・Ⅱ・Ⅲに当てはまる語の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 47 。

	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
①	平明	正午	黄昏
②	平明	鶏鳴	夜未半
③	夜未半	未明	正午
④	鶏鳴	黄昏	平明
⑤	正午	鶏鳴	夜未半

問四 傍線部C「當如是」を解釈したものとして最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 48 。

① 私が探していたのはまさにこの履である。
② 私の弟子としての学びはこのようである。
③ 五日ごとの約束を全て果たすことができた。
④ まさしくこの本に全てが書いてあるのだ。
⑤ 老人と約束したならこうあるべきだ。

kyogai-guide.jp

問五　傍線部D「讀此則爲王者師矣」に返り点を施したものとして最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 49 。

① 讀レ此則爲二王者一師矣
② 讀レ此則爲レ王者師矣
③ 讀三此則爲二王者一師矣
④ 讀二此則爲王者一師矣
⑤ 讀下此則爲二王者一師上矣

問六　本文の内容と合致しているものとして最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 50 。

① 張良は老人から与えられた二つの試練を乗り越えたため、太公の兵法書を与えられた。
② 張良は困っている老人の履を見つけ、怒っている老人にも適切に対応できる人格者であった。
③ 張良は見知らぬ老人の正体を見破ることができたため、秘伝の書物を読むことができた。
④ 張良は老人との待ち合わせに間に合わなかったため、教えを受けるまで十三年間待たされた。
⑤ 張良は傲慢な老人に対しても恭しく振舞ったので、後世の人々に尊崇された。

kyosai-gulliver

（白紙）

kyosai-guild.jp

令和８年度実施　横浜市公立学校教員採用候補者選考試験【夏実施】
教科専門試験［中学校　国語］　　正答及び配点

解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
正答	③	①	④	②	①	⑤	③	⑤	①	①
配点	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
解答番号	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
正答	⑤	②	③	④	①	③	④	②	④	①
配点	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
解答番号	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
正答	①	③	③	⑤	③	④	③	④	②	④
配点	1	1	1	2	3	3	3	3	3	3
解答番号	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
正答	③	①	④	②	①	③	⑤	③	⑤	②
配点	2	3	3	3	3	3	3	2	3	3
解答番号	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
正答	①	①	⑤	④	④	②	②	⑤	①	①
配点	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3

kyosai-guild.jp